

## 2年2組の実践

- 1 教科：国語科 単元：「ないた 赤おに」
- 2 目標 「ないた赤おに」のおすすめカードを協力して作ることができるようにする。
- 3 児童の活動の様子



＜カードに入りたい言葉を、話し合っ  
て考え、ホワイトボードに記入する＞

しょうかい文をだれが書く？  
絵をかくのはだれがかく？

やさしい・手紙・青おに・友だち・・・



＜カードを作るための役割分担を決める＞

## 4 児童の振り返り (在籍 29人)

- ・ 「自分の考えを伝えることができた ◎18人 ○11人」
- ・ 「友達の考えのいいところをみつけることができた ◎20人 ○6人 △3人」
- ・ 「みんなと話し合っ  
ておすすめ文を作ることができた ◎22人 ○6人 △1人」

その他にも、「みんなで協力しておすすめカードを作るのが楽しかった」「他の本でも、おすすめカードを作りたい」という声も聞かれた。

## 5 実践の成果と課題

おすすめカードに入りたい言葉(キーワード)をグループで協力して考える活動は、友達の考えを知る手立てとして、有効であった。また、カードを作ることが苦手な児童にとって作り方が分かり、次時の学習に生かせることができたのではないかと思った。しかし、このような学習活動は、ほぼ初めての経験であったため、自分の考えを主張して、友達の考えを受け入れることに時間がかかったり、話し合いの場では、自己主張ができなかったりという課題が見られた。今後は一人一人が活躍できるような手立てをさらに工夫していきたいと思った。また、友達の書いた文章に興味深く読む姿が見られたので、今後の授業でも分かち合いタイムを多く取り入れていきたいと思う。